

【アレルギー・呼吸器科 職員募集要項】

対 象：卒後3年目以降の内科医師（呼吸器内科を専門としている必要なし）で
アレルギー科と呼吸器内科双方の分野の診療に従事可能（アレルギー科と呼吸器内科は分かれていないため）で
臨床研究業務も並行して行いたいという志のある医師

募集人数：各年度若干名（面談による選抜試験あり）（前年度8月末までに要連絡・お気軽に御連絡ください）

※ 最低1年単位で1年以上のフルタイム勤務が条件

後期研修医：3年（内科後期研修医制度病院規定に準ずる）

※ 後期研修医からレジデント採用や常勤医師への昇任あり

レジデント：最低1年単位で1年以上のフルタイム勤務が条件

給 与：当院規定に準ずる

募集要項の詳細は <http://www.hosp.go.jp/~sagami/welcome.htm>参照

※アレルギー科と呼吸器科は分かれておらず、双方の分野の診療を行って頂きます

※1年以内での短期の受け入れは行っておりません

※当院での長期的な勤務（就職）希望者が、優先的に採用となります

※臨床業務を行いながら、臨床研究にも従事したいという志を持つ医師を募集しています

※面談による選抜試験あり

所得可能な主な専門医：総合内科専門医・呼吸器専門医・アレルギー専門医 ほか

主な業務内容：

- ・total allergistとして、診療科の垣根を越えた成人アレルギー疾患の診断・治療・臨床研究技能の習得
- ・成人アレルギー疾患および呼吸器内科疾患全般の外来ならびに病棟業務
- ・成人アレルギー疾患および呼吸器内科疾患全般の診断・管理（初診・再診）
- ・一般内科医としての救急医療・当直業務
- ・重症気管支喘息（N-ERD・ABPM・SAFS・EGPA含む）の診断と長期管理
- ・アナフィラキシーの原因検索ならびに生活指導
- ・診療科の垣根を越えてtotal allergistとして、成人食物アレルギー、薬剤アレルギー、環境・職業アレルギー、鼻アレルギー、眼アレルギー、好酸球増多疾患（EGPA・好酸球性副鼻腔炎・好酸球性肺炎など）、慢性蕁麻疹、皮膚アレルギーなどの診断・治療・長期管理
- ・気管支鏡検査など呼吸器疾患診療に必要な技能の習得
- ・食物および薬剤誘発負荷試験（運動誘発含む）
- ・多種アレルギー免疫療法（皮下注法・舌下法）
- ・各種 I 型アレルギー検索のための検査（皮膚テスト・気道過敏性試験・抗原吸入誘発試験など） など

当科の特長：

- 1) 日本のアレルギー分野における臨床・研究の中核病院（準ナショナルセンター）
- 2) アレルギー疾患対策基本法における国の基幹施設
- 3) 豊富な症例に裏打ちされた希少かつ難治な疾患を含めた広範囲なアレルギー内科学及び呼吸器内科学の習得が可能
- 4) 喘息・食物アレルギー・薬剤アレルギー・環境アレルギー・アレルギー性皮膚疾患・アレルギー性鼻副鼻腔疾患・アレルギー性眼疾患・好酸球増多疾患などアレルギー疾患全域および癌・感染症・びまん性肺疾患・COPD・慢性咳嗽など呼吸器疾患全般が診療対象
- 5) 学閥なし、必要なのは熱意・好奇心・志の高さ
- 6) 臨床だけでなく臨床研究に従事
- 7) 様々な他施設との共同研究や治験を手掛けている
- 8) 各種専門医が取得可能（内科専門医、アレルギー専門医、呼吸器専門医の認定施設）
- 9) 市中病院でありながら医学博士取得が可能（当科は順天堂大学提携大学院に指定）
- 10) 国内学術講演会（アレルギー関連にかかわらず）や各種研究会・講演会への積極的な参加・研究発表を積極的に支援
- 11) 英文医学論文作成ならびに海外学術講演会への参加・研究発表を積極的に支援
- 12) 当科からの海外留学の実績あり